

福井県ふるさと文学館 夏季企画展

# 日本ミステリー文学展

ふじ ち よし かが  
藤田宜永からの招待状

会期／2016年

7月16日(土)～9月11日(日)

開館時間／火～金曜日 9時～19時、

月土日祝日 8月12日(金) 9時～18時

休館日／7月19日(火)、8月25日(木)、9月5日(月)

主 催／福井県ふるさと文学館

特別協力／藤田宜永

協力／北九州市立松本清張記念館、講談社、世田谷文学館、

西村京太郎記念館、日本近代文学館、早川書房、

立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

入場無料



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE  
ふるさと文学館

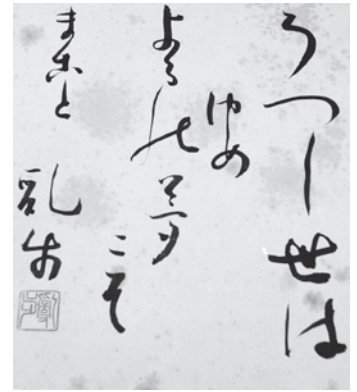
イラスト／yukim



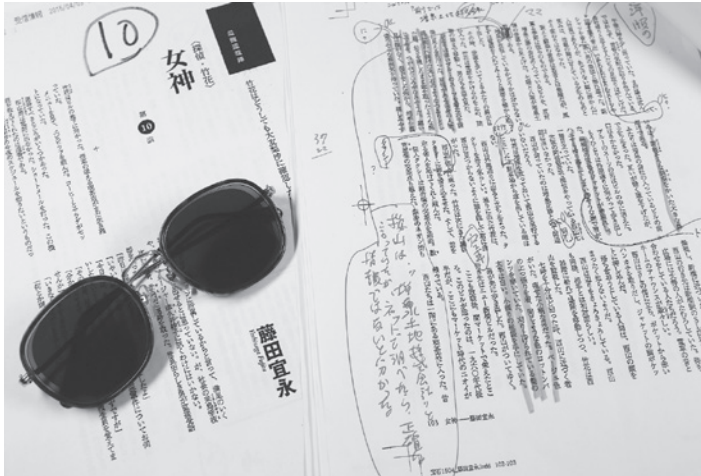
日常の中にひそむ謎や事件を題材に、人間の情念や社会のあり様を描くミステリー小説は、日本文学の中でも大きな位置を占めています。近代以降、数多くの作品が生み出され、不可解な出来事や犯罪を推理と行動で解決していく人間たちの物語は、現在も多くの読者たちを魅了しています。

福井県出身の直木賞作家・藤田宜永は、時代の変化と共に現れる様々な社会問題を、私立探偵の目を通し描き出すハードボイルド作品を多く著し、新たなミステリー文学の境地を開拓し続けています。また東尋坊や越前海岸、八百比丘尼伝説など福井県にある独特の風土や歴史は、多くのミステリー作品の舞台や題材として描かれており、福井県の文学を語る時、これらのミステリー文学を欠かすことは出来ないと言えるでしょう。

本展覧会では、ミステリー作家・藤田宜永の作品世界を中心に福井ゆかりのミステリー作品を紹介するとともに、日本ミステリー文学の歴史とその魅力に迫ります。



▲江戸川乱歩筆色紙(個人蔵・立教大学図書館寄託)



◀大正、昭和期に探偵小説が数多く発表された文芸誌『新青年』(世田谷文学館蔵)

横溝正史ブームを起こした角川文庫版シリーズ(『獄門島』『八つ墓村』『犬神家の一族』『悪魔が来りて笛を吹く』『迷路の花嫁』)『謎の正史著、株式会社KADOKAWA刊』と杉本一文作の表紙リトグラフ。



◀藤田宜永「探偵・竹花 女神」校正原稿とトレードマークのサングラス

関連イベント

講演会

入場無料 要申込

直木賞作家・藤田宜永が語る！  
作家の創作ウラ話



藤田宜永氏(撮影/森 清)

日時/平成28年8月6日(出)  
14:00 ~ 15:30  
(開場13:30)

会場/福井県立図書館  
多目的ホール

定員/150名

福井県出身で、ハードボイルド小説や恋愛小説など幅広く活躍中の藤田宜永氏に、作家となったきっかけや取材時の面白エピソードまで、創作生活の裏話を存分に語っていただきます。

【お申し込み方法】

イベント名、お名前を文学館あてに電話、FAX、メールでお申込みいただくか、下の申込用紙に記入の上、文学館へお持ちください。

キーワード

講演会

直木賞作家・藤田宜永が語る！  
作家の創作ウラ話

日時/平成28年8月6日(土)  
14:00 ~ 15:30

お申込者名

ミステリー文学キネマ

入場無料 当日先着

会場/ふるさと文学館 映像ルーム

時間/13:30~ 定員/40名

※12時より文学館カウンターで整理券を配布します。

7月24日(日)『本陣殺人事件』(1977年、142分)  
原作/横溝正史 監督/蔵原惟繕 主演/古谷一行

7月31日(日)『探偵物語』(1983年、111分)  
原作/赤川次郎 監督/根岸吉太郎 主演/松田優作、薬師丸ひろ子

8月11日(休祝)『名探偵ホームズ 青い紅玉の巻、海底の財宝の巻』(1984年、46分)  
原作/アーサー・コナン・ドイル 監督/宮崎駿

8月28日(日)『怪人二十面相』(1954年、127分)  
原作/江戸川乱歩 監督/弓削進 主演/若杉英二

9月10日(土)『ゼロの焦点』(1961年、95分)  
原作/松本清張 監督/野村芳太郎 主演/久我美子

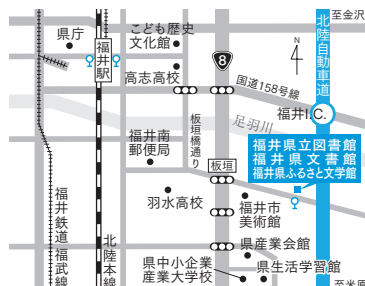
謎解きゲーム



文学館展示室の中にあるクイズを解いて、オリジナルグッズをゲットしよう!君はすべての謎を解き明かすことができるかな?

対象:小学生以上  
会期中、文学館カウンターで受付

【アクセス】



- フレンドリーバス(無料)● 福井駅東口バスターミナルから約15分
- 路線バス● 福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷行き)約12分
- 自動車● 北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m